

船舶事故調査報告書

平成24年5月24日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	不明（平成24年1月17日 15時40分ごろ～15時45分ごろの間）
発生場所	三重県尾鷲市尾南曾鼻 ^{おなそはな} 東方の西コージ岩付近 尾南曾鼻灯台から真方位109° 300m付近 （概位 北緯34° 04.9′ 東経136° 16.2′）
事故調査の経過	平成24年1月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{こうえい} 光栄丸、0.5トン ME3-57124（漁船登録番号）、個人所有 6.80m（Lr）×1.50m×0.40m、FRP ディーゼル機関、27kW（漁船法馬力数）、昭和63年8月
乗組員等に関する情報	船長 男性 68歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年3月28日 免許証交付日 平成20年8月21日 （平成26年4月25日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船首船底部破口、船首船底左舷側防舷帯一部脱落及び推進軸曲損
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成24年1月17日15時00分ごろ僚船8隻と共にえび刺網漁のために尾鷲市須賀利漁港を出港した。 船長は、15時40分ごろ、尾南曾鼻東方の東コージ岩付近において、えび刺網の仕掛けを終え、1隻の僚船の後に続いて須賀利漁港に向かって帰途についた。 本船は、15時45分ごろ、他の僚船により、西コージ岩付近に無人で乗り揚げているところを発見された。 船長は、19日08時24分ごろ、尾南曾鼻東方の西コージ岩周辺において、巡視船の潜水員により発見され、医師による検死の結果、溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西南西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約50cm、潮汐 約81cm（尾鷲）
その他の事項	本事故の目撃者はいなかった。 船長は、膨張式救命胴衣（以下「本件胴衣」という。）の上に合羽を着用していた。

	<p>本件胴衣は、手動用の紐のほかに水を感じて自動膨張する機構であったが、膨張していなかった。</p> <p>海上保安庁及び漁協関係者の情報によれば、本船には、他船との衝突痕は認められなかった。</p> <p>船長は、本船の乗揚場所付近で発見された。</p> <p>本件胴衣の取扱説明書の警告には、外衣として着用する旨が記載されていた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、15時40分ごろ須賀利漁港へ帰航を始め、15時45分ごろ西コージ岩付近に乗り揚げているところを発見されたことから、この間において、須賀利漁港へ帰航中に西コージ岩付近に乗り揚げたものと考えられるが、船長が死亡したことから、乗揚に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長が着用していた本件胴衣は、膨張していなかったが、その理由を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が漁を終え、須賀利漁港へ帰航中、西コージ岩付近に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・膨張式救命胴衣は、着衣の上に着用すること。 	